

29amC-178

水素風呂への入浴による抗シミ効果と各種皮膚パラメーターへの影響

○斉藤 靖和¹, 三村 晴子¹, 石丸 裕香¹, 水上 愛子¹, 岩井 圭三² (¹県立広島大・生命環境, ²中国電機製造)

【目的】近年、水素のもつ抗酸化能をはじめとする多彩な機能が注目されている。我々は、これまでに水道水を電解して生成した水素水（水素を高濃度含有した水）の皮膚や毛髪に対する有効性について報告してきた（第 131 年会）。今回、我々は水素水を利用した入浴による各種皮膚パラメーターへの影響について長期的な検証を行った。【方法】健常日本人 10 名（男性 3 名、女性 7 名）を対象に、中国電機製造(株)製の整水器で水道水を電解して生成した水素温水（溶存水素濃度 0.16~0.64 ppm [通常水<0.01 ppm], 40℃）を浴槽に満たした水素風呂による入浴試験（6 ヶ月間）を行った。一方、水道水を沸かした一般的な風呂（通常風呂）に入浴している 6 名（男性 3 名、女性 3 名）を対照群とした。各種皮膚パラメーターの評価として、シミ、皮膚（角層）水分量、経皮水分蒸散量、油分、肌弾力、シワに対する水素水の影響について、利用前、利用後 3 カ月、6 ヶ月経過後の計 3 回の評価を行い、水素水を継続的に利用した際の皮膚状態の変化を追跡・検証した。

【結果】6 ヶ月間の水素風呂への入浴により最も顕著な変化が認められたのはシミに対する効果であり、水素風呂使用者では 10 名中 8 名（80%）においてシミの淡色化が認められ、通常風呂使用者（6 名中 2 名（33%））と比べて有意なシミ改善効果が認められた。また他にも、かかと部の水分量、目尻部での皮膚バリア機能の向上などが認められた。【結論】6 カ月間の水素風呂への入浴による各種皮膚パラメーターの変化を追跡・検証したところ、シミに対する淡色化効果が顕著に認められた。このことから水素水を利用した入浴は、特に美白を目的とした新たな有効手段として今後の活用が期待される。